



# おさかなかわらばん瓦版

No. **76**  
2017.3

シリーズ：貝 かい 第8回 だい かい

## しじみ



ふーちゃんのトピックス

だい かい うみ じ ゆう けん きゅう さく ひん  
第35回「海とさかな」自由研究・作品コンクール  
じゅうしゅう さく ひん しょう かい もり かん さつ えん み  
受賞作品を紹介します 「さかなと森の観察園」で見られるよ!



# しじみ

～おいしくて栄養満点の黒い宝石～



📷 1 ヤマトシジミ

みそ汁にするととてもおいしいしじみ (📷 1) ですが、わたしたちが食べているものは正式には“ヤマトシジミ”と呼ばれ、海水と淡水が混じる河口などの汽水域 (📷 チェック) にすんでいます。しじみの仲間には、琵琶湖だけにいるセタシジミや、たんぼや水路のような真水にいるマシジミなどがいます。



📷 2 しじみ漁のようす

今回の主役であるヤマトシジミの産地は、島根県、三重県、茨城県、青森県、北海道などが有名で、毎年合計で1万トンほど漁獲されています。しじみ漁はおもに、小舟に乗り、クマデにカゴを付けたような「ジョレン」と呼ばれる道具を使います (📷 2、📷 1)。ヤマトシジミは大きくなると砂にもぐって

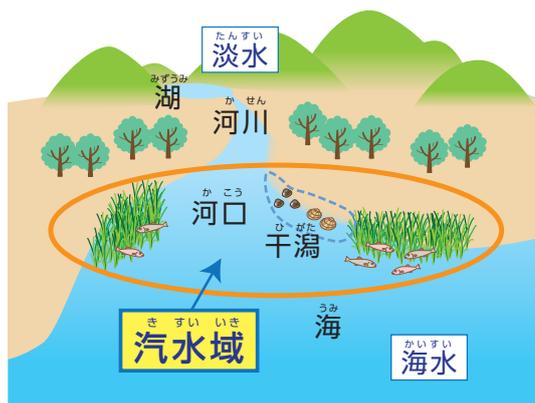


📷 1 しじみ漁の道具 (ジョレン)



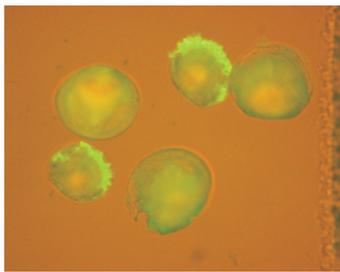
## 汽水域

河口のように海水と淡水が混ざる場所を汽水域と呼びます。汽水域には、ヤマトシジミなどがすんでいて、アユやスズキなどの魚の子どもたちが育つ場所でもあります。また、汽水域には干潟ができることが多く、そこにはハマグリ、アサリなどがすんでいて、漁場として活用されています。



生活しますが、卵から生まれて3～7日間は水中をただよのように泳いでいます(ワンポイント)。その後、泳ぎを止めて砂にもぐり植物プランクトンなどをエサにします。2～3年で私たちが食べる大きさまで成長します。寿命は10年ぐらいといわれていますが、詳しいことはよくわかっていません。

しじみを研究するためには卵から生まれたばかりの赤ちゃんのころから調べる必要があります。しかし、しじみ、アサリ、マガキなどの赤ちゃんは小さくて、けんび鏡で見てもどの種類かわかりません。そこで、私たちは



3 特別な技術で光らせたしじみの赤ちゃん

しじみの赤ちゃんだけを光らせる技術を開発しました。これなら、しじみの赤ちゃんも簡単にわかりますね。

ヤマトシジミはおいしいだけでなく、私たちの健康に役立つ栄養も多く含まれています。まず、おいしさを決める「うま味」成分は、コハク酸、グルタミン酸、グリシンなどが多く含まれています。さらに、肝臓の働きを助けるオルニチンやアラニンなどが多く含まれおり、お酒をよく飲む人の味方ともいえます。

しかし、最近、家庭でのしじみの消費量が減っています。2000年と比べると現在は4割程度です。おいしくて体にいいしじみを、皆さんにもたくさん食べていただきたいとおもいます。



(浜口 昌巳)

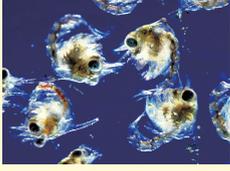


あんじいのワンポイントアドバイス

## 赤ちゃんのころはゆ～らゆら

しじみ、アサリ、マガキなどの二枚貝類、サザエなどの巻貝類、えび・かに類、うにやなまこなど、身近な水にすむ生き物の多くが、卵から生まれてしばらくは水中をただよって生活しているんじゃない。これを浮遊幼生と呼んでおる。浮遊幼生は親とは形が異なり、ひと目見ただけでは、どの種類の子どもかはわからないんじゃない。

あんじい：ありとあらゆることを知っているナゾのさかな仙人です

あか 赤ちゃん	→	おや 親	アカウニ
			
			イセエビ
			ガザミ



ふーちゃんのトピックス

Fuchan's Topics

5月5日のこどもの日は、  
ちゅうがくせい か にゅうえんりょうが  
中学生以下の入園料が  
おひょうりょう  
無料になります

「さかなと森の観察園」

〒321-1661 栃木県日光市中宮祠 2482-3

☎ 0288-55-0055

★電頭の滝のすぐ近く!



<http://www.fra.affrc.go.jp/nikko/>

# 第35回「海とさかな」自由研究・ 作品コンクール受賞作品を 紹介します 「さかなと森の観察園」で見られるよ!

「海とさかな」自由研究・作品コンクールは、朝日新聞社と朝日学生新聞社の主催で、小学生を対象に「海とさかなとわたしたち」をテーマに、海とさかなにかかわる研究・作品を募集し、優れた作品には賞が授与されます。2016年に行われた第35回は2万9130点もの応募作品から、農林水産大臣賞に安藤 静冴さんの観察図「とべ! とべ! トビウオ!!」、佐々木 朝飛さんの作文「浜人として生きる」が、水産研究・教育機構理事長賞に中村 一葉さんの自由研究「ギョギョ!! メダカの新体カテスト」、明神 実果子さんの作文「おじいちゃんのおしずし」が選ばれました。

これらの4つの受賞作品を日光の「さかなと森の観察園」の「おさかな情報館」で展示します。「さかなと森の観察園」は冬の期間お休みしていましたが、3月20日から開園します。ぜひ見に来てね。

## 観察図「とべ! とべ! トビウオ!!」

研究部門



鹿児島県 鹿児島大学教育学部附属小学校3年生 安藤 静冴さん

## 自由研究「ギョギョ!! メダカの新体カテスト」

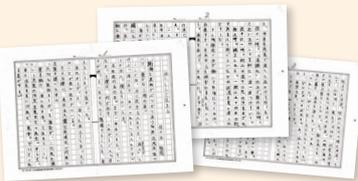
研究部門



奈良県 奈良女子大学附属小学校4年生 中村 一葉さん

## 作文「浜人として生きる」

創作部門



岩手県 宮古市立崎山小学校5年生 佐々木 朝飛さん

## 作文「おじいちゃんのおしずし」

創作部門



高知県 土佐市立新居小学校3年生 明神 実果子さん



ふーちゃん



ふつくん：あんじい仙人のもとで修行している研究員です

## おさかな瓦版 No.76 (2017年3月発行)

編集・発行：国立研究開発法人 水産研究・教育機構

質問の送り先・お問い合わせ先：広報課

〒220-6115 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-3  
クイーンズタワーB 15階

TEL. 045-227-2600 FAX. 045-227-2702

ウェブサイト <http://www.fra.affrc.go.jp/>

さかなやエビ、カニなどの水産動物や海藻のことでわからないことがあったら、広報課までハガキを送ってね。<聞きたいことの内容>、<学年>、<住所>、<名前>を忘れずに書いてね。ふつくんが「なんでもコーナー」でお答えします。



水産庁の主催する魚の国のしあわせプロジェクトに参加しています

表紙写真



ヤマトシジミのみそ汁

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。